

おおえ

今年はどんな絵になるのか楽しみ。本郷東小5年 田んぼアート

6月定例会	2
一般会計補正予算	4
町政を問う（一般質問）	6

亘理町議会との交流会	11
第1回臨時会	12
私もひとこと	16

宅団地(21区画)の造成工事



駅前公有地活用の早期決定を

6月定例会

平成27年第2回定例会は、6月2日から3日間の会期で開かれました。

最初に町長の行政報告があり、大江町ふるさとまちづくり寄附の状況や、西村山地方開発重要事業について県知事へ要望することなどの報告がありました。

その後、条例制定1件、契約締結2件、一般会計補正予算など4議案について慎重に審議した結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

また、請願1件を採択し意見書として関係大臣に提出することを決めました。

一般質問では5人が、駅前公有地の利活用など幅広く町政をただしました。

本町の財政状況は概ね良好

行政報告(町長より)

1 平成25年度決算に基づく大江町の財務諸表
財政状況は概ね良好に推移している。

2 平成27年度大江町職員採用試験の実施
募集するのは上級行政職と土木技術職、初級行政職で、採用人数はそれぞれ若干名

3 大江町ふるさとまちづくり寄附の状況
インターネットで情報発信したところ、5月22日現在で449万円の寄附があり、昨年度の実績を超えている状況

4 平成28年度西村山地方開発重要事業要望事項
継続的な事項に加え、「介護保険事業の財政健全化と安定的な運営」等を新たにに加え、10項目の要望を提出

5 (株)大江町産業振興公社の決算報告並びに事業計画
売上高2億4千332万円、前年比8・5%の増、当期純利益18万円

6 大江町社会福祉協議会の会長に本職が就任

今期売上目標2億6千22万円、利益目標137万円

今期売上目標2億6千22万円、利益目標137万円

今期売上目標2億6千22万円、利益目標137万円

宮城県亶理町と交流を深める

諸般の報告(議長)

4月29日、大江町山里交流館「やまさあーべ」のオープンに当たり、海と山の物産交流や正調最上川舟唄全国大会、えん

ころ節全国大会等とおして交流している亶理町との交流会を催しました。(詳細は11ページに掲載)



亶理町の齋藤町長(左端)もテープ(薪割り)カット

スタート!!中央公民館の改築・藤田地区住



繰越明許費繰越計算書の報告

本件は、平成27年第1回定例会において可決された「平成26年度一般会計補正予算8号」の繰越明許費に係る歳出予算のうち、翌年に繰り越した実際の予算額について報告するものです。

主な内容としては、国の「地域活性化・地域住

民生活等緊急支援交付金」の対象事業の予算、また、町道藤田堂屋敷線など道路改良事業や、豪雨災害に伴う土木施設の災害復旧事業等において年度内の事業完成が困難となったものの予算措置等です。

皆様方からの

請願

【請願第1号】採択

「PPP交渉に関する国会決議の実現に関する件について」

《請願者》

さがえ西村山農業協同組合
代表理事組合長

古沢 明

《請願の趣旨》

4月以降、日米2国間協議のたびに、牛肉、豚肉の大幅関税引き下げに

加えて、米の特別輸入枠の設定などの報道が相次ぎ、生産現場に大きな不安と政府への不信が募っています。マスコミ報道が先行している中、国民の暮らしに直接影響する21分野が全く情報公開がされていないなど、政府の対応は混乱と不信を増幅させる事態を招いております。



守るべき日本伝統の稲作

平成25年4月、衆・参農林水産委員会は、食品の安全、安心及び食料の安定生産を損なわないこと、国の主権を損なうようなISD条項には合意しないこと、農林水産分野の重要5品目などの聖域を確保できない場合は脱退も辞さないこと、国民への十分な情報提供を行うこと、などを内容とする決議を採択しました。

重い責任があります。つきましては、PPP交渉が最終局面を迎えている中、これら国会決議を必ず実現するよう、政府に対し意見書の提出をお願いするものであります。

政府は、かかる決議を厳守し交渉に臨む極めて

本請願は、採択すべきものと決定し6月4日発行して可決され、意見書を、内閣総理大臣安倍晋三殿外関係大臣に提出しました。

ふるさとまちづくり寄附金大幅に増加

一般会計 補正予算

平成27年度一般会計補正予算は既定予算に歳入歳出それぞれ2千290万円を追加し、総額53億5千390万円とする平成27年度一般会計(第一号)を可決しました。主なものは次のとおりです。

使用するお金

☆総務費☆

○ふるさとまちづくり寄附謝礼

(追加) 350万円

○ふるさとまちづくり寄附金収納システム設定業務委託料

(追加) 179万円

○ふるさとまちづくり寄附基金

(追加) 400万円

(この3項目は町外からのふるさと納税者が増えたため追加)

○薪ストーブ設置委託料

(山里交流館の食堂に設置するものです) 242万円

○電柱移設工事費

(追加) 150万円

(藤田住宅団地の光ケーブル工事費)

☆消防費☆

○出動手当

○繰越金 888万円
(前年度繰越金追加)

○県支出金 94万円
(みどり環境交付金追加)

○寄附金 399万円
(ふるさとまちづくり)

○緑越金 888万円
(前年度繰越金追加)

(追加) 50万円
(最近火災出動が多いため追加です)

☆教育費☆

○臨時雇用賃金

(左沢小放課後子ども広場、学習指導員1名)

☆災害復旧費☆

○災害復旧工事費

(追加) 1千150万円

(町道3路線の復旧工事費です)

主な質疑応答

松田議員 フツ素の発が

ん性を指摘する学者もいるが、本郷東小学校のフツ素塗布の取組みについては。

教育長 実施にあたっては全保護者の了承を得たうえで、歯科医の指導で

強制的にならないよう注意し取り組む。

伊藤議員 薪ストーブ設置委託料の本体価格と設置費は。

政策推進課長 山里交流館の食堂に設置するもので、ストーブ本体が40万500円で、残りが設置工事費です。

土田議員 デュアル・モード・ビークル推進協議会負担金の内容と総会の内容は。

政策推進課長 JR北海道先進地視察に係る追加で、県内2市6町が参加している。推進協議会では、駅と観光地間のアクセス向上を実現し、沿線市町の地域振興を計るも

ので、左沢線にも活用したいものです。

結城議員 ふるさとまちづくり寄附金が1万円の

場合、町に入るお金は。

政策推進課長 特典5千円、発注発送2千500円で、町には2千500円です。

菊地議員 ふるさと納税が、地域総合戦略の目玉

になっていくが。

町長 古寺からふれあい

会館の端まで、町内の拠

点が完成したと思うので、

新規就農者や農家の生産物の支援の意味でも、特典として、ふるさと納税に繋げていきたい。

宇津江議員 ふるさと納税の特典の中での、新規就農者の農産物は。

政策推進課長 特典の中で、1番問題なのは量である。今後、在庫の確保と、大江町らしさを表現したパッケージを作りたい。

いきたい。



薪ストーブが設置される山里交流館の食堂

安食議員 県では「森林

(もり)ノミクス」を推進しているが、今後、町の施設に薪ストーブやバイオマス等を設置するとは考えているのか。

政策推進課長 町の施設である山里交流館に設置するが、その他、役場、交流ステーション、左沢小学校に設置できるか可能性を探っていく。

布施設員 山里交流館を会場に全国山菜サミットが開催されたが、総括はされたか。

農林課長 全国山菜サミットが2日間、大成功で終了したと思う。

全日程参加者が80名を超え、式典参加者も60名近い。交流会には120名参加し、地元の方々の協力で、これまでにはない山菜サミットと好評を得た。今後、大江町の地域振興のために、山菜を利活用していきたい。



「新鮮な朝採り山菜はいかがですか」



山菜サミットシンポジウム

古城議員 今回、本町で5件の火災が発生しているが、1件の火災でどれくらい出動費が支払われるのか。

総務課長 一人当たり1回出動で、1千円が分団に支払われている。延べ678人で、平均100人を超えている。曜日や時間帯も関係してくるが、消防団員の意識向上があり、火災時の出動団員数が増加していると思われる。

宇津江議員 防災無線設置計画の進捗状況は。

総務課長 昨年度、基本設計を調査した。今年度は実施設計を行いつながら、来年度に工事を行う計画である。

あたらしい条例が全会一致で可決、制定されました。

議第47号 大江町歯と口腔の健康づくり推進条例

この条例は、国の歯科口腔健康の推進に関する法律の趣旨に基づき、町民の生涯にわたる健康の保持及び増進を図るための条例です。内容は、乳幼児期の乳歯等や学齢期の永久歯等の虫歯予防対策、成人期の歯周疾病の予防対策、高齢期の口腔機能の維持及び向上対策、障がい者や介護を必要とする高齢者等に対する歯科保健医療サービスの提供に関する施策を実施するものです。

**契約が
結ばれました**

・町道中の畑線災害

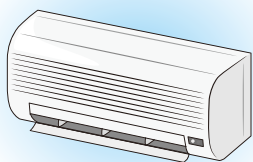
復旧工事（黒森地内）

6月1日入札の結果、6千264万円で町内の林建設（株）に決まりました。平成25年に起きた地滑りの復旧工事で、工期は本年11月13日まで。

・左沢小学校

エアコン設置工事

6月1日入札の結果、5千54万円、山形市の弘栄設備工業（株）に決まりました。昨年度に13台設置、今年度は42台設置。来年からは快適に勉強ができます。工期は本年10月30日まで。





土田 勵一 議員

駅前町有地は多機能な複合施設に

町長 どういう組み合わせがいいか
熟慮しながら進める

質問 平成24年に実施した「左沢駅前整備町民アンケート調査」によれば、駅前周辺に望む機能や施設のベスト3は、1番がスーパーマーケット・コンビニ、2番が医療施設、3番が飲食関連施設となっており、この3項目で約7割を占める結果でした。調査から3年が経過した現在、町民の声は、

①日常生活に必要な生鮮食料品店（アグリを含む）が欲しい。②高齢者の憩いの場となり、食べ物を注文しなくてもお茶

を飲みながら無料で休息できるスペースのある、小規模なファミリーレストランが欲しい。③親子も達が、年間を通じて交流し遊ぶことができ

る子育て環境の場が欲しい。等が主なものです。

また、観光客を増やしていくためには、ピールするのための案内所や土産店の充実も不可欠です。したがいまして、多様な機能を一体化した複合施設が最も現実的ではないかと思ひ提言致します。



活用が検討される駅前町有地

最近の町の方針として、高齢者用住宅や賃貸住宅等をお聞きしますが、どのようなお考えか。現在、中央公民館の改築を進めている最中ですが、駅前町有地の整備については、町民の関心が著しく高いことから、一步一步確実に進めていかなければなりません。駅前は大江町の顔であります。理想的で有効活用できる施設整備に向け、どのような考えを持っているのか。また、青写真の進捗状況についても伺います。

町長 平成24年度の暮れ

にアンケートが完成したが、災害対応に3年間かかった。短時間でスピード感があるのもいいが、あるものはいつでも使える。デンマークでは、橋を架けるのに7年間検討して、結局作らなかつた事例がある。

駅前町有地はそんなに広くない土地なので、知恵を絞らなければならぬ。平場が少なく、雪捨て場がない町で、もっとも重要なのはJR左沢線である。駅としての機能性をどう高めていくか、どう残していくか。左沢

駅がいかにか、左沢線の中で便利で重要であるかというのを申し上げたい。

どなたからも提言はいただいておりますが、もし、十分に余裕のある予算があれば、1階は全部駐車場に、2階は自然に触れられるような空間に、3階は、土田議員ご

提言のような子ども遊び場等の複合施設にした

いと思っております。さらに、重要な文化的景観に馴染むように先人達が残してくれた石組み、土塀や板塀等、そうした建物を造ってみたいという夢をお持ちの方がいらつしやらないのか、とも思っております。その延長線上にあの空間を使うべきではないか。議員の言った、3つのコンセプトを基に、来年度ブループリント（青写真）を組み立てていきたい。平場が少ない中で、どういう組み合わせがいいかということですが、

ある事業者から、店舗の進出は可能かと打診を受けているのも事実だが、採算ベースに合わないために撤退した所にお招き

最終的には、そういう所でも勝負できると思つて安心して居るが、熟慮しながら進めていく。



駅前町有地に子どもの遊び場を



伊藤 慎一郎 議員

木の沢地区の都市計画は 町長 基盤整備は国の事業とすれば20ha 以上であるが:

質問 木の沢地区にある「大江町の飛び地」の面積はどれくらいあるのか。そのうち農用地の面積は。また、農用地の基盤整備、区画整理はできないものなのか伺う。

立地条件から見て、宅地造成等も考えてはどうか伺います。

町長 木の沢地区の全体面積として約86町歩、そのうち農用地が10・3haで、田んぼが9・4ha、畑が0・9haとなっております。

農地の区画整理は、要

質問 木の沢地区ですが、平成6年頃から、民間の

業者が宅地造成分譲を行ってきて、54世帯が増えました。そのうち24世帯が町内の人です。藤田住宅団地の次に、この地区に住宅団地を検討してはいかがか。

町長 宅地の件に関しては、木の沢地区に限らず、本郷地区、七軒地区を含めて、適地があれば順次宅地化をすすめて、少しでも人口減少に歯止めをかけたかと思っております。

基盤整備の件ですが、国の事業を導入するとすれば、20ha以上となっております。



木の沢地区の田んぼ

質問 選挙年齢が、現在の20歳以上から18歳以上に引き下げられた。自分たちの町を知ってもらう、考えてもらう、そして、政治に関心を持ってもらう、つまり、町づくりに関して町の学生はどのような対応をするのか、模擬議会を行うてはどうか。

秋田県湯沢市の中学校では、いじめについての中学生の模擬議会を行っている。教育長の見解を伺う。

教育長 中学校3年生では「国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや選挙の意義について考えること」を学習しております。このような学習を通じて児童生徒の政治に対する関心を高めている。行政への

中学生の模擬議会の開催を 町制施行の節目の時に検討する 教育長

質問 選挙年齢が、現在も高めている。

中学生では、自分が観光ボランティアになったと想定して、町内にいらっしやった方々に大江町の良さをどう伝えるかという学習も行っております。重要文化的景観に選定され全国に誇れる歴史と文化がある町であること、自分が育ったふるさとの良さを学び、自然豊かなふるさとを愛する心を育てる「ふるさと教育」を推進しております。

子ども議会ということでは、平成11年7月に大江町誕生40周



大江町議会議場

年記念事業として実施しました。子どもならではの夢のある提言や、河川汚染問題やごみ問題など、日ごろ感じている素直な気持ちを発表されたようです。実施には学校の協力が不可欠で、子どもたちへの事前学習と、保護者の協力も必要です。町制施行の節目の時期などを検討してはどうかと思います。



安食 幸治 議員

町有施設の有効活用を

町長
提言の一つとして検討

質問 森の宮地内にある町有施設の下水処理センター内の敷地で、使用されていない土地の部分を利用して、犬を鎖から外して遊ばせる施設、「ドッグラン」を作ることはいかできないか。

設を併設できないか。高速道路のサービスエリアの多くにドッグランの施設が設置されており、愛犬家の方々に利用されています。

町長 下水処理施設は、国交省の補助事業により整備されるものであり、目的外使用なので事実上不可能であります。



今ある町有施設を有効活用して新たな集客を（道の駅）

道の駅の空いている土地を利用して、周りにある他の道の駅にはない施設を作ることによって、新たな客層の集客とピーアールになるのでは。

町長 道の駅は、県との関係が深い施設なので、近々トイレ、物販、駐車場等のリニューアルを予定しているが、公的な機関の敷地内にペットを持ち込みできる施設を、町が主導して作るには抵抗がある。人間と動物は、川や山など自然の中でふれあうのが良いのではないかと、提言の一つとして受け止めながら検討を加える。

町民号に代わる町民交流の行事は

町長
直接行政が関わらない旅でも可能



今まで楽しい旅をありがとう。町民号の旅（姫路城）

民間の旅行業者等も含めて様々な提案をいただき、行政がリーダーシップを握る町民号の旅ではなくても可能。

亘理町との関係については、児童生徒の教育旅行の課題等教育長の提言をいただき、各世代間の交流についても自然発生的な形の中で出てくれば良い。亘理町で仮設住宅におられる方々の支援を兼ねたお付き合い、旅行、温泉招待を実現したい。

質問 場所が近ければ、費用も安く交流しやすい。例えば、大江町の町制施行60周年の記念行事の一つとして、町民号の旅を復活させて、亘理町に行くことは。

町長 相手があることだが、今置かれている亘理町の現実問題で、仮設住宅におられる方々の救済という意味の交流ならば、現実味がある。

質問 今年度で最後となる「町民号の旅」に代わる行事として、友好都市提携や姉妹都市提携を結びつとす近隣の県の自治体に対して、草の根のようなお互いの町民交流

の旅行として、毎年ではなく2年に1度くらいで、表敬旅行を兼ねて行うことはできないか。

町長 町民号のコンセプトは、左沢線を維持しJRを支援するのが目的。

質問 町長をリーダーとした役場の縦組織と、私たち住民の横のつながりが交わって町づくりが行われております。縦と横が交わった時にプラスになります。それにはお互いが認識を共有し、そして理解しなければなりません。ここが大切で、全てここから始まります。

は町民の方から理解していただいているという前提で進めている。

町民の方にご説明はしているし、その努力はしているが、隅々まで浸透しているかというところ、なかなか難しところであります。

質問 共通認識、共通理解を町全体に浸透させていくには、首長の経営感覚と職員の地域経営、つまり、町の課題を民間の手法で解決するセンスが必要だ。島根県隠岐島海

約を申し上げてこの場にいる。その公約は町民と約束したこと、実行する裏打ちをいただきたいと理解している。様々な政策

解を町全体に浸透させていくには、首長の経営感覚と職員の地域経営、つまり、町の課題を民間の手法で解決するセンスが必要だ。島根県隠岐島海

大江町のゆくえは

町長

公約を実行する



菊地 勝秀 議員



美しい大江町

士町の山内町長は「役場は住民総合サービス株式会社である」町長は社長、副町長は専務、課長は取締役、職員は社員、一方住民は、税金を納めた「株主」であつて、また、そのサービスを受ける「顧客」でもあると言っている。

町長 民間の仕事と公の仕事は根底的に違うところがあるかもしれないが、世の中が変わっているのに、公的機関が毎年同じようなことをやっているのかということに関しては同感です。

税を徴収させていただいてそれをできるだけ公平に分配しながら、将来の日本、県、町をつくる

ていくという視点では民間と違うと思っている。

海士町は海の魅力を見事に定住に結びつけた成功事例である。我大江町は山の魅力を発信してきたか、そのことを海士町から学ぶ一つのことだろう。森林ノミクス、バイオの観点、大江町型住宅、西山杉の件など照準をあてて検討していかねばならない。

質問 七軒地区の一部の地域社会が崩れつつあるし、次第に下流の地域にも忍び寄ってくることは感じ取っていると思う。人口減少を少しでも食い止めるには、「見事なバランス」の住宅団地を継続的に小分けに造成していくこと。素晴らしい我町を発信して定住促進を図ること。空き家バンクに受け入れ、新規就農者を受け入れ、ふるさと納税を推進することです。

町長 人口減少社会につ

いて数字を発表しておりますが、悲観論に裏打ちされた統計論だと私は思っている。そうした悲観論に組するべきでない。これは今まで十分に予測された数字であり、ほとんどの人がどこかで認識していることだと思つて、それを明るい材料にして、前向きに人口減少論を展開していくべきだ。



山の魅力を発信

質問 地方創生として、総合戦略のまとめをすることは大江町の将来を大きく左右することだと思つて、地域の中の暮らしに入つていって正直に對話し、課題を実現できるか、できないか、住民との議論が大切です。

町長 若い職員の地域参加で、地域の魅力見つけ隊とかたちで対応させていただいております。そこから一歩あかぬけさせるように考えてみたい。10月までに戦略をまとめなければならぬのだが、町の将来を決めるのにたかだか3〜4か月でまとめるというのは、いささか国の品格として疑っている。もつと時間をかけて、都市再生論も含めて全体論を論ずるべきだ。

何も新たなことをする必要はない。50年、60年の大江町の歴史の中で社会的インフラは十分整っている。朝日、古寺、山さあーべ、貫見の体育館、小倉交流館、若葉保育園、ふれあい会館、テルメ、大山、楯山城跡、左沢重要文化的、そういう点を線で結んで、その線の上に人間が張り付いて、儲かるような仕組みを考へることが私の結論です。



宇津江 雅人 議員

山里交流館の整備を

町長 安全面から補正予算を組み対処していく

質問 4月1日に旧七軒西小学校が山里交流館

町長 水路の整備ができていない。整備の計画は。補正予算を組み対

開館し、6月から8月にかけて10数団体の方から体験プログラムや宿泊の申し込みがきており、幸先の良いスタートと思われず。



キャンプ設備等の整備が望まれるグラウンド

処していく。危機管理の面から、土木分野の専門家の意見を聞き対応している。

質問 豪雨時には、暗渠水路の入り口にある鉄柵に大量の流木や土砂が詰まり、対策を講じる必要がある。

町長 現在、専門家の意見を聞き、対応している。

質問 野外体験プログラムとして、野外炊飯設備やバーベキューコーナーの設置を企画しているが。

町長 山側にバーベキューコーナー施設を設置することを検討したい。また、旧本郷西小グラウンドに保管している西山杉を活用した、野外施設の設置を検討している。

質問 「やまさあーべ」に行く途中、土砂崩れの場合があり、車を迂回して通行している状況である。工事の状況は。

町長 土砂崩れは月布川にも及んでおり、県にできるだけ早く工事をして欲しいとお願いしている。



土砂や流木が詰まる暗渠入口の鉄柵

屋内児童遊戯施設の建設を

町長 問う 公約の中で、子どもの遊び場を作ります

質問 町内における屋内児童遊戯施設は「わかば保育園」内にありますが、施設の規模が小さく、若い夫婦と子ども達は町外の施設を利用している状況も見られます。屋内児童遊戯施設の建設を伺う。

町長 わかば保育園ではこじんまりとして静かであり、良いという意見もありますが、一方、広い遊戯施設が欲しいという意見もありますので、公約のとおり子どもの遊び場を作りたいと考えています。



こんな遊び場が欲しい (天童市げんキッズ)

ようこそ大江町へ—巨理町議会との交流会

歴史と文化の薫る—海の町・山の町との絆



ようこそ奥おおえ柳川温泉へ（巨理町・大江町議員交流会）

4月29日、山里交流館のオープンに当たり、海の町「巨理町」と交流会を開催しました。

これまでも海と山の物産交流や郷土民謡をとおり、両町のさらなる繁栄と振興を図っていききたいという考えから、両町議会の交流会を催しました。

巨理町議会からは、安細議長初め12人の議員と議会事務局長の参加を得て、和やかな中にも率直に両町議会の情報交換をすることができました。

また、今年も最上川舟唄大会でえんころ節を披露してくれました。

今後とも理解を深められる交流を続けていきます。



巨理町民謡えんころ節優勝者の唄声披露



ん！これはコシがあり旨い！柳川そば

さらなる 交流を求めて

6月29日、大江町議会議長以下議員11名と事務局2名が、巨理町へ行政視察を行いました。

あいさつの中で、齋藤町長から復興状況は今年度でほぼ7割に達しますが、まだ仮設住宅の生活を余儀なくされている方もおりますとの話がありました。

現地視察のほか、帰途、犠牲になられた方に献花しお参りしてまいりました。



東日本大震災の犠牲者に献花（荒浜地区）

第1回臨時会

平成27年第1回臨時会
が5月13日（水）に開催
され、専決処分の承認4
件、契約締結2件が、全
会一致で可決されました。

提案理由

地方税法等の一部を改
正する法律の施行に伴い、
本条例の一部を改正する
必要があったことから専
決処分を行ったものです。

専決処分 4件

○大江町税条例等の一部
改正（平成27年条例第22
号）

○大江町都市計画税条例
の一部改正（平成27年条
例第23号）

○大江町国民健康保険税
条例の一部改正（平成27
年条例第24号）

○大江町過疎地域固定資
産税課税免除条例の一部
改正（平成27年条例第25
号）

以上4件の専決処分の
承認を求めることについ
て、地方自治法（昭和22
年法律第67号）第179条の
規定により報告し承認を
求めるものです。

契約 2件

○平成27年度大江町中央
公民館改築工事請負契約
の締結について

1 工事名
平成27年度大江町中央
公民館改築工事

2 工事場所
大江町大字本郷地内

3 請負金額
8億3千808万円

4 契約の相手方
寒河江市大字島字島東
87番地
(株)高松木材
代表取締役社長
高橋 武彦

5 工期
平成28年6月10日

○平成27年度藤田地区住

宅団地造成工事請負契約
の締結について

1 工事名
平成27年度藤田地区住
宅団地造成工事

2 工事場所
大江町大字藤田地内

3 請負金額
1億1千16万円

4 契約の相手方
西村山郡大江町大字左
沢1166
高子建設株式会社
代表取締役
高子 公雄

5 工期
平成27年11月30日



可憐なひめさゆり

議会の動き（平成27年4月～6月）

4月

10日 議会広報常任委員会

15日 総務文教常任委員会協議会
産業厚生常任委員会協議会

16日 議会運営委員会

17日 議会広報常任委員会

24日 議会広報常任委員会

29日 宮城県亘理町議会との
交流会（柳川温泉）

7日 議会運営委員会

13日 第1回臨時会

15日 村山地方町村議会議長会定例
総会（河北町へに花温泉ひなの湯）

19日 政務活動費審査会

21日 議会運営委員会

22日 県町村議会議長会広報研修会
（山形市国際交流プラザ）

25日 西村山地方議会議長協議会定期
総会（朝日町創遊館）

6月

26日 全国町村議会議長会町村議
会議長・副議長全国研修会（東京/27日まで）

29日 議会広報常任委員会

2日 第2回定例会（4日まで）

8日 議会広報常任委員会

11日 県町村議会議長会臨時総
会（遊佐町島海温泉遊樂里）

18日 議会広報常任委員会

25日 議会広報常任委員会

29日 西村山地方議会議長協議
会研修会（大江町役場）

亘理町議会への議員視察研
修（宮城県亘理町）

次回定例会は、
9月開催予定です。
ぜひ傍聴においでください。

また、大江町のホームページで、
議会の様子をライブや録画で見
ることが出来ます。

—あたらしい街ができる—

藤田地区住宅団地造成工事・起工式・安全祈願祭が、平成27年6月9日(火)に現場にて行われました。

人口減少対策としてこれに続く
次の造成地はどこだ?!



完成予定 平成27年11月30日

中央公民館改築工事・安全祈願祭が、平成27年5月19日(火)に現場にて行われました。

さー みんなで行こう♪ 図書館もできるヨ。



私たち、町民の施設ができる

完成予定 平成28年6月10日

村山地方町村議会 議長会定例総会

平成27年5月15日（金）、河北町べに花温泉「ひなの湯」にて開催されました。

開会の後、議第1号役員改選を行い、会長には鍋倉竹志山辺町議会議長、副会長に小野祐一大江町議会議長、監事に長岡啓治朝日町議会議長が選任されました。

その後議事に入り、平成26年度事業報告並びに歳入歳出の認定（監査報告）、平成27年度事業計画並びに歳入歳出予算（案）について、また、平成27年度会議等負担金計画（案）、平成27年度村山地方町村議会議長会要望事項について、全会一致で可決承認されました。

西村山地方議長 協議会定期総会

平成27年5月25日（月）、朝日町創遊館にて開催されました。

最初に寒河江市議会国井議長からあいさつがあり、その後議事に入り、平成26年度事業報告、平成27年度事業計画（案）について、原案どおり可決されました。

続いて役員改選を行い、会長に国井輝明寒河江市議会議長、副会長には伊藤哲治西川町議会議長と小野祐一大江町議会議長が選任され、閉会としました。



町の花 あじさい

平成27年度全国町村議会議長・副議長研修会

5月26日（火）～27日（水）、中野サンプラザホールにて開催されました。

1日目

○基調講演

「地方自治の母国に負けな
我が国の町村議会
―ふるさと創生から地方
創生へ―」

内貴 滋氏（帝京大学経済
学部地域経済学科教授）

○シンポジウム

「これからの町村議会を考
える」
（コーディネーター）

内貴 滋氏

（パネリスト）

溝部 幸基氏

（北海道福島町議会議長）

加藤 俊一氏

（山形県川西町議会議長）

三井 猛氏

（山梨県昭和町議会議長）

村上 正広氏

（鳥取県日南町議会議長）

宮城 清政氏

（沖縄県南風原町議会議長）

内貴氏よりパネリストの
紹介があり、それぞれの町
の概要と活動状況について
発表がなされました。

2日目

○研修テーマ

「日本の健康は、農・山・
漁村」が握る」

講師 白石 真澄氏

（関西大学政策創造学部教授）

「地方創生と政治・経済の
展望」

講師 青山 彰久氏

（読売新聞東京本社編集委員）
二人の講師よりご講演を
いただきました。

待ったなしの自治体経営
が問われる中、大変貴重で
刺激のある研修会でした。
今後、議会活動に活かして
まいります。



議会活動を伝えたい!!

第32回議会広報研修会が

5月22日（金）、山形国際交流プラザにおいて行われ、当議会から広報委員4名が参加しました。

広報・編集コンサルタントの芳野正明氏を講師に迎え、「読まれ、議会活動が伝わる編集技術等」について講演を聴き、今後の議会だより編集の糧となりました。

た。

研修後半には、県内12町村（当町も含む）が作成した「議会だより」を見ながらのクリニックを受け、それぞれの編集技術を生かした紙面は参考となりました。特に、関心を引きそうな表現の見出しや、写真と記事のレイアウトに工夫しなければならぬと感じました。



議会報の充実を目指し、熱心にメモを取る広報委員

西村山広域行政事務組合報告

平成27年 第1回臨時会

6月19日、寒河江市議会議事堂にて行われました。

西村山広域行政事務組合 議会議長、副議長選挙が行われ、議長に寒河江市の国井議長、副議長に大江町議会の小野議長が就任しました。また、監査委員に、朝日町議会の長岡議長が新たに決まりました。

平成26年度一般会計のポンプ車購入費の繰越明許費3千735万円と、寒河江地区クリーンセンター斎場特別会計の最終処分場整備費7億7千496万円分の繰越計算書報告がありました。

地方創生とはなんだ？

平成27年6月25日（木）大江町役場大会議室で、西村山地方議長協議会議員研修会が行われ、村山総合支庁の富樫健治氏より「地方創生と総合戦略について」という演題で講演いただきました。（参加者約70名）

消滅可能性都市は、2040年までに20歳から39歳の女性に5割以上減少する市町村で、それに該当する市町村の割合が8割以上となるのが、青森、岩手、秋田、山形、鳥根県の5県です。山形県では、28の市町村（80%）が該当する。該当しないのは、山形、米沢、寒河江、長井、東根、山辺、高畠の7市町です。

されました。人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口集中を是正していくために、消滅可能性都市に該当する市町村は、実情に応じた総合戦略を平成27年10月30日までにまとめなければなりません。県は、人口減少対策プロジェクトチームを設置します。各自自治体を競い合わせて交付金が決められるので、差がつけられる可能性があります。

「まち・ひと・しごと創生法」が平成26年11月28日に施行

された。



真剣な眼差しで地方創生について学ぶ

私もひまわり



鴨田 徳康
(一区)

私は左沢一区の桃の実工房で、二男と共に工芸品づくりに励んでおります。昨年還暦を迎えました。長男、二男、妻と四大家族です。

最近気になることがあります。今年に入ってから町内の火災が多いと感じ、少し不安になっております。先日、同じ区内で住宅火災が発生しました。全焼してしまい、大変お気の毒なことだと思いますが、類焼がなく裏山にも燃え広がらなかったことは不幸中の幸いだったと思います。消火活動に尽力された方々のご苦勞に感謝したい気持ちでいっぱいです。

ところで、出火当日、だいぶ火の勢いが下火になったのを見届けてから家に戻り、一杯の水を飲もうと水道の蛇口をひねりました。ところが、水がチヨロチヨロとしか出ません。大火の時、消火栓が役に立たないというのはこう

いうことかと実感しました。

阪神淡路大震災の時、そのような報道があったのを良く覚えております。

一方、JR左沢線の下をくぐる洞門のそばの貯水池が最近埋め立てられました。なぜかなと思っております。更に、先人が大火に備え前田川の自然水利を利用しようとした簡易水門も、現在は壊れたままです。

「水郷の町」と言われていますが、意外と使える水はありません。流雪溝も未整備です。消火栓に頼りすぎるのはちよつと心配になります。



鴨田さんの作品（聖徳太子像）

編集後記

今年是小雨にて猛暑が続き、体調を崩されている方もいらっしゃると思います。

最近、地震や噴火などが頻繁に発生しています。災害はいつ来るか予測できず、不安な気持ちになります。

議会だよりのおおえの編集も今回で136号を迎えており、なお一層ご愛読いただけるよう邁進していきます。

9月には、町会議員の改選が行われます。新しい編集委員が選任され、より良い紙面づくりに努力していただくようお願いいたします。（記・古城 紀夫）

【発行責任者】

◆議長 長 小野 祐一

【大江町議会広報常任委員会】

- ◆委員長 安食 幸治
- ◆副委員長 宇津江雅人
- ◆委員 菊地 勝秀
- ◆委員 古城 紀夫

